

◆子育てグループによる活動紹介

1) おさんぽくらぶ ～当日の活動紹介～

「おさんぽくらぶ」の石橋です。

私たちは「子育ては楽しい、子育ては楽しいをみんなと共有しよう」という思いを、「お・さ・ん・ぽ」という情報誌に毎月表しています。

「本当に楽しい」の一言につける活動ということで紹介を終えたいところですが、一応こういう場ですし、実際に子育てを楽しむ余裕もない人もいるのとか、「そういうお金はだれが払っていると思っているの」というお叱りを受けたことがあるので、活動の説明を添えさせていただきます。

私は、第1子出産時は、バリバリ打ち込んで仕事をやっていたのですが、突然の出産で仕事を辞め、見知らぬ所で子育てを始めたために、非常な育児不安に陥りました。非常に長い期間だったのですが、それを克服するために心理の勉強を自分で始めて、そちらの道に進もうと思った矢先に、第2子を突然授かり、ちょっとがっかりしました。ですが、その時勉強したことが無駄ではない、そのことを生かしてお母さんたちの悩みを聞けるかもしれないと思ったのです。

しかし、実際そういう立場になった時に、お母さんたちの悩みを聞くことも非常に大切な活動ではあるのですが、一方で子育ては本当に楽しいものだということをみんなに訴えかけていかなければ、子育てがつらいつらいものだと、いくらその時は気持ちを聞いてあげてすっきりしても、そのあとが続かないと強く、実感しました。それで、本当に子育ては楽しい、素晴らしいものだということを、みんなで胸を張って言える環境にしたいと思って、この活動を行っています。

子育てが終わっても、子育てがやっと終わったから今度は違うことをしようではなく、子育てが終わっても、まわりの子どものことにもいろいろ目を向けていきたいと思えるような子育て環境を実現できたらと思います。

この場の皆様には、とても急募なのですが、ワードとエクセルができる方、一緒に誌面作りを手伝ってくださる気持ちがある方、ぜひご連絡をお待ちしております。一緒に誌面を作っていきましょう。よろしくお願いします。



2) 高輪ハッピーママーズ ～当日の活動紹介～

皆さん、こんにちは。ゴスペルを歌うサークル「高輪ハッピーママーズ」代表の伊佐見です。

ゴスペルを歌うサークル「高輪ハッピーママーズ」、ゴスペルは福音、キリスト教で人類が救われるという教えで、ゴスペル音楽というのは奴隷制や人種差別などに苦しんだ黒人たちの信仰心の中から生まれた音楽です。教会に入れてもらえない黒人が教会の外で歌いました。人種や時代や信仰には関係なく、今ゴスペルを歌って、このゴスペルの歌が黒人たちに勇気と希望を与えたということがわかる気がしています。

私とゴスペルの出会いは4年前です。高輪児童館の企画でゴスペル教室がありました。そこで初めて出会ったのですが、出会ってすぐに楽しいなと思い、それからゴスペルの魅力にはまってしまいました。残念ながら児童館の企画は3年間で終了しましたので、「まだまだ、もっともっと歌いたい」という声が聞こえて、それで歌う場作りということでサークルを立ち上げました。ですから、私のゴスペル歴は4年になります。

今、当時児童館の企画のゴスペル教室で指導していただいた生貝隆先生に指導していただいています。先生はヤマハ・ミュージック・サウンドの方で、とても指導上手です。発声練習もしっかりしますが、窮屈な練習にはなっていません。とても楽しいです。

高輪児童館の保育ボランティアなどの協力を得て現在活動していますが、指導上手な先生、歌の好きなメンバーと歌っていると本当に楽しいです。元気が出ます。大きな声を出してストレス発散をしています。

子育て中のママたちが多く参加しているので、このサークルが子育て中のほっと一息つける場になればいいなと思っています。ママと離れられないお子さんは、練習するお部屋で遊んでいます。もちろん子育て中の方に限らず、地域の方々との交流の場でありたいとも思っています。

サークルのモットーは「自由に楽しく歌いましょう」です。主な活動場所は港区高輪児童館、高輪福祉会館。時間は午前10時から12時で、先生のご都合で曜日は決まっていません。次回練習日は3月22日高輪児童館です。3月18日は赤坂区民センターで開かれる「港区平和都市宣言20周年事業、地球を枕に夢を育む」の舞台でゴスペルを披露します。

時間になりましたのでこれで終わりますが、気軽にいつでも遊びにいらしてください。お待ちしております。

3) ハピママみなと ～当日の活動紹介～

皆さん、こんにちは。「ハピママみなと」の田中真由美です。

「ハピママみなと」は、もともと港区が主催する3カ月の子どもを連れた「うさちゃんくらぶ」で50名ぐらい集まりましたが、全部で3回しか集まりがないのです。

私自身が広島で主人と離れて仕事をしていて、妊娠5カ月まで全く気付かず、慌てて仕事を辞めて東京に来て、子育てをスタートしました。なので、友だちが全く周りにいなくて、両親も広島で、周りに話をする方がいないのです。主人も毎晩夜中の1時2時に帰ってくる仕事なので本当に孤独で、「うさちゃんくらぶ」の3回が楽しみで楽しみで出かけていました。その中で、私は「友だちをとにかく作らなきゃ」という思いで、みんなと必死でかかわって、「これで終わりは悲しいよね」というところで、まずはお茶飲みから始めたのです。

すると、抱っこしたままとか、ベビーカーに乗せたままで大丈夫でコーヒーを飲んでいたのが、そのうち子どもがハイハイするようになって、「これはどこか会場が要るよね」となり、同じ子どもをもっている仲間の中学校の先生が、子育てサロンというのを知り、そこに申請をして、おととしの12月に「ハピママみなと」を立ち上げました。

ですから、当初はとにかくみんなで会場に集まって、とにかくしゃべるだけ。文句の言い合いというか、愚痴の言い合いというか、情報交換をしたり、そこからみんなそれぞれ仲のいい友だちができてきたのです。

登録人数は、現在50名ぐらいいますが、実際には5名とか10名とかの単位で仲良しグループができました。今「ハピママみなと」は何をやっているのといえますと、春・夏・秋・冬に大きなイベントをやっています。春は例えば花見とか、夏は親子リトミックをやったり、ベビーマッサージをやったり、そういった大きなイベントをやっています。基本的に、「ママがハッピーだったら子どもはハッピーでいられるよね」みたいな感じの乗りで、ママが楽しい場を、ということで「ハピママみなと」をやっています。

これからは、例えば、私自身がエステに行きたい、出産後で25キロ太ってしまったのですが、ぜひエステに行きたい。でも、エステはなかなか子どもを預けて行かれないので、エステティシャンを呼んだりして、ママがリラックスするようなスペースを提供できたらと思います。

皆さんで「こんな企画があるよ」とか、「こういうことだったらやってあげてもいいわ」みたいなものがあれば、ぜひ声をかけていただけたらと思います。よろしくお願い致します。

4) おおきなき ～当日の活動紹介～

皆さん、こんにちは。「おおきなき」の廣田です。

グループ名の由来ですが、絵本から来ました。樹木の実や葉、幹、根が人を支えるという「おおきな木」というお話があります。おおきなきの「き」は樹木の「木」と気合いの「気」、気の「き」からのイメージを取り、付けました。

私たちは子育て中に、子どもと離れて何かをじっくり学びたいという思いで、ひさし総合研究所の渡部陽子先生が主催する子育てネット「家族支援セミナー」という講座に参加しました。7回ぐらいの講座だったのですが、それに参加したメンバーで、この「おおきなき」というグループを作り、3年前から活動を始めました。

去年は川野健治先生（国立精神神経センター精神保健研究所）、手塚一朗先生（さいとうクリニック家族機能研究所）、舞踏家・ヨガ講師のゆふがほきら先生などいろいろな分野の方たちを呼びました。

特徴としては、保育付きで、お子さんと離れてじっくりその場に浸れることと、座談会形式で、一方通行でお話を聞くのではなく、こちらからもこういうことで悩んでいるとか、その場で打ち明け、話をして、皆さんに聞いてもらって、それなりに回答を得るといったことをやっています。

「おさんぼくらぶ」として活動紹介された石橋さんも「おおきなき」のメンバーで現在5名ですが、3月末と一緒に活動していた山辺さんが引越することになり4名で活動することになります。今後の活動としては、9月秋ぐらいに、リラックス系か、皆さんの興味ある講座を企画しています。

月に一遍、社会学部付属研究所のプレイルームで話す会を企画して、これからやっていこうとしていますので、ぜひ興味のある方がいらしたらご参加ください。まだ詳細は決まっていますが、決まりましたら、いろいろなかたちでお知らせしたいと思っています。

5) L. M. G ～当日の活動紹介～

こんにちは。「L o v i n g M o t h e r s G r o u p・子どもを愛したい母の会」といいます。

このグループができたのは10年前です。例えば、10年前子ども虐待のニュースが出ると、すぐに「鬼母」とか、そんな大きな題字がワイドショーとか週刊誌の表紙を飾っていました。

そのころ、ちょうど私も初めての子育てを経験して、子どもを「ああ、殺しちゃうかもしれない」というぐらいのところまで本当に追い詰められ、子どもをいったん施設に預けて、そしてまた引き取って、今10年がたったところです。

その10年間の私を支えてくれたのが、このグループの仲間たちでした。

活動の中心は、「言いつ放し・聞きつ放し」のミーティングです。「言いつ放し・聞きつ放し」というのは、ここで話されたことはここだけの秘密で、絶対外に漏らしたり、うわさ話にしたり、批判したり、質問したり、評価したりしない。ただ自分の話をする。ひたすら自分の話をして、ひたすら人の話を聴く、それだけです。それが活動の中心で、現在は月に2回程度、東麻布のビル、私たちが所属している日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオンというNPOの事務所の一角を借り、そこでミーティングをしています。ミーティングのほかには、児童虐待防止法ができる時のロビー活動や、電話相談や保育活動なども、今までの10年の中でしてきました。

ミーティングで語られる内容は、「子育てというのは楽しいときもあれば、つらいときもあるよね、両方だよ」ということ。お母さんというのは子どもがかわいくて当たり前と思われがちだし、かわいくないということをはなかなか言いづらいのだけでも、それをタブーではなくて「子育てが辛い」と言える場、だれかに助けを求められるつながりを作りたい。私たちの子どもたちが子育てをするころには、そういう世の中になっているといいなと思いながら活動しています。よろしくお願いします。



6) パルレ ～当日の活動紹介～

皆さん、こんにちは。「パルレ」の川口です。

私は「L. M. G」にも所属をしています。私がパルレの話をする事になったかといいますと、ずっと「L. M. G」の仲間として参加していた時に、子どもとどうしても関係がうまくいかない。一生懸命子育てしているつもりなのですが、何かが違う、何かが違うと思いながら、子どもが大きくなりました。ある時長男が不登校になり、いろいろな心理検査をした結果、アスペルガー症候群だということがわかりました。

私には3人子どもがいます。中2の長男と小4の二男・三男の双子です。子ども達全員、心理検査をした結果、二男もアスペルガーがあることがわかりました。私の育児がしんどかったのは、私の育て方が間違っていたのではないかとすごく自分を責めていました。しかし「パルレ」に入ってから、私が悪いのではなくて、子どもの特性を知らなかったために、子どもにうまく対応することができなかったのだということに気が付きました。

それを教えてくれたのは、「パルレ」代表の坪井さんはじめ、「パルレ」の皆さんでした。私の話を聞いてくださり、皆さんの話を伺っていく中で、「アスペルガーやADHDの子はこういうふうにしたほうがいいのよ」とか、「こういう方法をするとうれしいわよ」とか、「いろいろなパニックはあっても、10分後には普通にテレビを見たり、普通に生活できるのよね。それで私たち救われているわよね」というようなお話を学習会の中でしたりしています。活動紹介の隣のページに「パルレが主催しました」とありますが、17年度「ちょっと気になる子どもたち」という連続講座を企画しました。

18年度も、まだ具体的な詳細は決まっていないのですが、6月から企画しますので、興味のある方はパンフレット等も持ってきていますので、ぜひ参加して下さるとありがたいです。

軽度発達障害の子たちというのは、見ると本当に普通の顔をして、普通にしゃべって普通なのですが、ちょっと何かあったときに、かんしゃくを起こすこともあります。それも声のかけ方ひとつで変わっていきける場合もよくあります。なので、私たちも勉強していきますし、地域の皆様やいろいろな学生の方たちの応援等があると、私たちも子どもたちも暮らしやすい世の中になっていきけるのではないかと思います。

7) La. La. La ～当日の活動紹介～

「L a . L a . L a」の宇山です。

私たちは、港区の家庭教育学級で子育て講座を企画した仲間が、区民スタッフを卒業したあとも、自分たちで気になること、興味があることがたくさんあって、これからも企画ができれば楽しいねと、自主的に集まってグループを作りました。去年私たちのグループは、港区の社会教育関係団体と、港区社会福祉協議会の子育てサロンに登録させてもらいました。

月1回親子クッキングをしたり、講座を開いたり、アロマセラピーとかの講座を開いたりしています。遠足で飛鳥山公園や上野の科学博物館に行くなど、自分たちに楽しいことをさせてもらっています。活動場所は、田町のリーブラに登録した関係もあって、そこを使ったり、実習のために自分たちの家を使って試作をしたりしています。

5人で活動を始め、企画メンバー5人で、10名から15名ぐらいの方に参加してもらいながらやっています。子育てサロンに登録させてもらい、補助金が出て、会場費の支払いはすごく助かっていますが、参加するのがママさんたちなので、子どもの保育が毎回の悩みとなっています。なので、特に資格は要らないので、交通費プラスアルファで保育をしてくれる方を大募集しています。

今回興味深いサークルが多くてとてもうれしくて、ぜひ自分たちの活動と皆さんの活動と交流していけたらいいなと思います。



8) 高輪幼稚園ひよこの会 ～当日の活動紹介～

皆さん、こんにちは。「高輪幼稚園ひよこの会」の内海です。

「高輪幼稚園ひよこの会」は、高輪幼稚園は区立幼稚園ですが、今、私立幼稚園と区立幼稚園が、港区の中で大変格差があります。例えば区立幼稚園は2年保育、私立幼稚園は3年保育、区立幼稚園はお弁当を親が作って持たせて、送り迎えも親がするのですが、私立幼稚園は、皆さんご存じの通り、送迎バスや給食などがあり、保護者が選ぶのは私立幼稚園になってしまうのです。

そうすると、私立幼稚園は満員御礼ですが、区立幼稚園は子どもが大変少なくなり、園児の獲得が難しく、定員割れをしてしまう、クラスが1クラスになりそうです。今高輪幼稚園は幸い2クラスか確保できたのですが、子どもが減っています。

そういう中、幼稚園と保護者、卒園児のOBなどの協力を得て、「ひよこの会」という未就園児の会をずっと行っています。

何をしているかというと、未就園児に幼稚園に来て遊んでもらう。区立幼稚園の良さをお母様・お父様方に知ってもらうのが目的です。入園してほしいという気持ちがあるわけです。

毎週水曜日に、「ひよこの会」を行っていました。そんな中、在園児の親から「もう一日増やしてはどうか」という。要は3歳児を連れてウロウロするのはとても大変なのです。みんな私立幼稚園に行ってしまうとお友だちが周りにいません。公園に行っても3歳児はぽこっとゴジラのように大きくて、赤ちゃんたちに迷惑を掛けるのではないかと親は遠慮してしまうのです。3歳のお子さんを連れて、気軽に3歳児同士で集まったり未就園児同士で集まったり、お母さんたちが幼稚園の情報交換できるような場を作りたいということで、今年からお母さんたちの呼びかけで、「ピヨピヨルーム」を月曜日に増やし、高輪幼稚園では週2回未就園児の会をやろうという動きがあります。

今は春休み前で、今期は終わったのですが、また5月からいろいろなことを企画していきたいと思っています。ここにお集まりのサークルの皆さんや地域の皆さんと協力をして、楽しい会にしていこうと計画中です。どうぞよろしくお願いいたします。



9) デイジーチェーン ～当日の活動紹介～

こんにちは、はじめまして。「デイジーチェーン」の北川あす香です。

「デイジーチェーン」は、実はグループ名が決まったのは先月です。ラウンドミーティングに参加するということもあり、また子育てサロンに登録することになり、名前を慌てて決めましたが、グループとしては1年ほど活動しています。

実はもともと私が子どもを出産してすぐにアメリカに行ってしまい、カリフォルニアで子育てをしていました。カリフォルニアというのは、すごく子育てをするには天国のような所で、子どもをちょっと連れ出し、スーパーに行くだけで子どもを見て「かわいいね」「すごくかわいい」とか、「お母さん大変だけどかわいいね、かわいいね」というのを、5分歩けば1人か2人は必ず言うてくるような所だったので、すごく楽しく子育てをしていました。

当然行政もアメリカは、子どもに対して社会全体で育てるという感覚がすごく強いので、子育てで悩むとかいうことは全くなく、楽しい子育てを1年半ぐらいして、いざ帰国となり、港区が一番子育て支援をしているということで港区に帰ってくることになりました。

1年半日本にいなかったもので、当然子どもをもつお友だちはいないですし、仕事をまだ続けていかななくてはいけないので、港区近辺で働いているママの情報をネットで呼びかけました。そこで知り合いになった方と少しずつですが輪が広がって、情報交換が主ですが、グループとして活動を段々としていくようになりました。

主に土曜日・日曜日、週末にパパも一緒に、今は豊岡福祉会館を使っています。集まって食べ物を持ち寄ったりして、いろいろ情報交換をするというのと、子ども抜きで話せるランチに、パートナーとのことや仕事のこと、仕事を持って子どもを育てていくことに関して悩みは尽きないので、ランチミーティングみたいな形で、いろいろ話をしています。

保育園でお会いする方というのは、お互い忙しくてほとんどお話をするときがないので、こういう形で月1回でも、少しずつでも、いろいろ話ができたらいいなと思って、こういうグループを立ち上げてみました。

やはり子どもを持って仕事もして、どちらも大切ですし、当然家のこともやらなければいけないという中で、いろいろと愚痴ることも多いのですが、もっと楽しく仕事もして子育てもするというのを両方できたらいいなと思って活動をしています。